

えながら、広域避難場所の周辺地としての防災性向上や土地の高度利用による市街地整備などに対応していきたい。

駅周辺の施設配置について

中野駅周辺まちづくりの計画検討素案が示されたが、警察大学校等跡地やここを含む駅周辺はどのようなまちになると考えているか。住宅建設が想定されているが、駅周辺地区としての小・中学校の配置・規模をどう考えるか。



(通称) 中野四丁目西地区

因の調査を行いたい。

学校の統廃合と選択性の同時実施について

夏に統廃合対象校が公表される中で、来年4月に学校選択性を実施すれば、新入生がない学校が出てくる可能性があるが問題だ。実施には、さらに議論が必要ではないか。

教育長 学校選択性導入に関する環境に変化があり、来年度の導入については慎重に検討し判断したい。

区長 交流やにぎわいの拠点として、創造性・情報発信性に富んだまちとして想定している。都市型産業の育成、定住化の促進なども進めたい。大規模集合住宅の動向など、児童・生徒の増加要

緑を増やすため校庭の芝生化に早急な取り組みを



民主クラブ 藤本 やすたみ

基本構想審議会の答申では、平成10年度の数値を基準と緑の豊かさを感じられる快適なまちの姿を示すものさ

しとして緑被率を挙げている。現在の正確な緑被率を測定して将来像を描いていくべきではないか。30年前の校庭はすべてアスファルトで固められていたが、土に戻すべきという提言で土の校庭に戻した。子ども達によりよい教育環境をつくり、温暖化対策として、校庭の芝生化は緑を増やし大変効果があると思うが、どのように検討を進めているのか。



芝生の校庭(杉並区)

区長 緑被率の調査を今年度早期に行い、その調査結果に基づき、新しい目標値を設定する予定であり、基本構想の中でも、ものさしとしていきたい。

教育長 教育委員会内の検討委員会で他の自治体の事例を見ながら使い方や管理のあり方、財政負担など鋭意検討しており、実現の方向でできるだけ早く検討を進めたい。

中野駅への障害者用トイレの設置と福祉マップの作成を

車椅子の方が行動範囲を広げ、安心して出掛けられるよう、中野駅に車椅子で利用できるトイレの設置をJR東日本に強く働きかけるべきである。福祉マップは10年前に作成したままである。新しいバリアフリーガイドマップを早急に作成すべきでは。

区長 中野駅は、駅舎の立地条件や構造上の問題から、改修が困難な駅の一つに挙げられているが、バリアフリー推進の観点からJR東日本に対し、設置要望をしていきたい。福祉マップの必要性は認識しており、コンピュータや携帯電話などからの参照ができることも含め、具体的な手法を検討している。

平和の森公園のドッグランの移設と拡大を

平和の森公園の現在のドッグランは暫定的なものであり、区長は第3期工事終了時に設置できるよう検討していきたいということ、宿題だとも

言っていたが、その後、どのように進展しているのか。

区長 東京都下水道局が行っている平和の森公園東側の第3期工事が、今年度中に終了する予定である。平成17

開かれた学校評議員の会議を求め



無所属の会 むとう 有子

開かれた学校づくりを推進する目的で、学校評議員が設置され2年が経過したが、保護者の認知度が低い。人選は、校長の知り得る限られた人選ではなく、積極的に公募すべきではないか。会議の公開はわずか2校、会議録作成も半数未満となっている。情報公開に対する教育委員会の見解は、2年間の成果と課題についての見解は。

教育長 公募も含め幅広い層から選出したい。活動内容を広く周知理解を促すことが大切と考える。ようやく基盤が整備されてきた段階であり、評議員構成、活動が学校経営に反映されているか、検証する必要がある。

生活道路拡幅整備を進め安全で快適に住めるまちに

区内には道幅4m未満の道路が多数存在し、非常時の消防活動にも支障が生じる深刻な状況だ。生活道路の拡幅整備には、建築主の協力を確実に求める必要がある。事業推進のための具体的方策を区長はどのように考えているか。

区長 建築前や協議申請提出時にパンフレットを配布

年度には、その上部の暫定整備を行う予定であり、整備する一部に現在のドッグランを拡大して移設する。

開かれた学校評議員の会議を求め

無所属の会 むとう 有子

し制度理解と協力を求め、協力が得られない場合は文書要請を行っている。今後は、建築確認申請や完了検査事務等との連携をさらに強化し、着実に取り組んでいきたい。

人権保護の観点から防犯カメラの設置基準を

防犯カメラで監視し合うまちづくりには、基本的に反対だ。区内には、すでに25施設96台の防犯カメラが設置されている。世界一の監視カメラ設置国イギリス政府は、犯罪抑止効果は少ないと発表。その上、防犯カメラは、

新しい基本構想の基礎となる考え方を問う



市民自治 佐藤 ひろこ

新しい基本構想では、これからの地域社会をつくる上で重要な、自由と尊厳を守る姿勢を強く打ち出すべきではないか。市民への分権を実現するため、公共サービスを生み出し実践する市民の力を、大きく広げる必要があること

を明確にすべきではないか。

プライバシーや人権侵害につながる恐れがある。区が制定した「中野区の設置する防犯カメラの運用に関する要綱」には設置基準がない。策定すべきではないか。プライバシー保護の観点から民間設置の防犯カメラにも、映像の漏洩防止、不当目的利用の禁止など、運用に関する施策を講じるべきではないか。

開かれた学校評議員の会議を求め

無所属の会 むとう 有子

区長 設置にあたっては、施設構造や運営形態、利用状況などさまざまな要素があり、個々に判断している。商店街等では防犯カメラ設置により安全確保を図り、それぞれ運用基準を設け、適正に運用していると聞いている。

防犯カメラの観点から

防犯カメラで監視し合うまちづくりには、基本的に反対だ。区内には、すでに25施設96台の防犯カメラが設置されている。世界一の監視カメラ設置国イギリス政府は、犯罪抑止効果は少ないと発表。その上、防犯カメラは、

防犯カメラ(区立施設)



市民自治 佐藤 ひろこ

区長 すべての人々が自立し、尊厳ある暮らしができる地域社会を具体的に描きたい。区民だれもがサービス提供の担い手にもなれるなど、自らの意志・決定に基づき参加できる社会を目指すことを明確にしたい。

を明確にすべきではないか。

金額の低い随意契約も契約過程を公表すべきではないか。価格競争だけでなく、環境や障害者雇用への配慮など、社会的な価値を尊重するような評価基準の導入が必要と考えるがどうか。



中野駅北口の桜

区長 随意契約の契約後の情報公開を検討したい。企業規模、経営状況、契約実績など、入札参加登録の条件を審査している。今後は障害者や高齢者の雇用率なども審査項目とし、指名の判断基準として考慮することを検討したい。

中野駅南口に桃園を再生し、北口には既存の桜並木を拡大して、中野駅周辺を花の名所にしてはどうか。また、警察大学校等跡地に武蔵野の林を再現するなど、緑の再生に取り組みべきと思うがどうか。

区長 中野駅周辺まちづくり計画で、みどり豊かなまちづくり実現の考え方を示す予定である。警察大学校等跡地も既存の公園に加え、開発者が提供する公園、公開空地などにより3〜4ヘクタールの確保を検討しており、環境共生に配慮したまちとしたい。

社会的評価を考慮した入札制度の検討を

契約の透明性確保のため、

図書館業務委託後の人件費の節減効果は



公明党議員団 斉藤 高輝

図書館業務委託による人件費の削減について具体的な数字を答えて欲しい。

教育長 常勤職員56人、非常勤職員32人を減らし、臨時職員をすべて廃止した。これ

らの合計額は約5億9200万円となり、委託費との差は2億7800万円である。ペイオフ対策を示せ 平成17年4月からペイオフ